



もりの手紙

mo ri no te ga mi



NO 337 / 2025

森にこうよ!
もりメイト倶楽部
Hiroshima

発行・編集

理事長 山本恵由美

広島市中区白島中町12-4

tel. 090-6419-7531

e-mail. info@morimate-ch.com

url. https://www.morimate-ch.com/



声かけあって
事故を起こさない!
起こさせない!
目指そう
安全・安心・楽しい
森づくり活動を!!

contents

- ★ 8月例会案内「ゆとりの森」
8月24日(日)：北広島町にて
森の景観整備・・・2
- ★ 第1回もりメイトキッズ開催
報告「日本昔話を体験してみよう」
・・・3
- ★ 各部会報告
 - ・里山：竹炭材の製品加工他
 - ・クラフト：木工クラフト部材準備
 - ・環研：初トライアル・もりメイトキッズフィールド開放・竹林整備他・・・4
- ★ 製材機講習会
簡易製材機で板を仕上げる。
- ★ 中国新聞掲載記事：
「狩猟家自然の森公園」構想・・・5
- ★ 8月・各部会活動予定他
 - ・夏休みクラフト「トンボを作ろう」
・・・6



初司会の坂田さんと背負子をお爺さん役、恵木さん。 P3もりメイトキッズにて

私たちが 森づくりを応援しています。

- ◆株式会社ニシナ屋珈琲 ◆ゆめみらい株式会社
- ◆イオンリテール株式会社 イオンスタイル広島府中
(イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン)
- ◆(有)ジェイ・アセット・マネジメント

《ご支援を誠にありがとうございます。順不同・敬称略》

もりメイト倶楽部
Hiroshima

森は私たちの宝もの。未来へ残したい、伝えたい

『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

- みんなで森づくり：健康で生き生きした森を育てます。
- 森を育てる技術を磨く：森づくりを学び、日々実践・研鑽。
- 森から学ぶ：人と森との関わりを学びます。
- 森の恵みを伝える：恵みを利活用し、拡げる活動。

例会

倶楽部のメイン行事（原則第4日曜日）
地域と共に活動。技術安全研修を実施。

もりメイト倶楽部 Hiroshimaは1997年から活動している団体です。
広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています！

広島市民賞、ひろしま県民活動県知事賞、広島ユネスコ活動奨励賞、
全国林業普及協会会長賞など受賞歴多数。

案内



8月地域貢献例会

「ゆとりの森」景観整備他 《担当：4班》

山あいの、影涼し緑の中で、気持ちのいい汗を一緒に流しませんか

◆日 時： 8月24日（第4日曜）9時00分～

※担当班のメンバー＆リーダーは8時30分までに集合して下さい。

◆会 場：【ゆとりの森】北広島町南方 3733

※ナビで「ゆとりの森南方」を検索。または、『可部バイパス』を通り
セブンイレブン広島上根バイパス店に8時半に待ち合わせ。

◆持参物： 山の道具（道具の貸し出し有り）・弁当・飲み物
名札・呼子（笛）

※倶楽部にて汁物を提供予定です。汁椀を準備して来て下さい。

◆申込み：8月13日（水）までに各班長へ連絡。

※ 新入会員、賛助会員その他参加希望の方は 事務局へ電話かメールでご連絡下さい。

090-6419-7531 : info@morimate-ch.com

※ もりメイト倶楽部会員外の方は、例会参加費 500 円受付にてお渡し下さい。

■ゆとりの森は、「ゆとりの森里山整備事業」として北広島町が認可した沖野さん所有の森です。オーナーの沖野さんが何十年もかけて里山林を整備し、みんなが自然を体験し集える森を創って来られました。

■倶楽部との出会いは、2016年6月の中国新聞「オピニオン」に掲載された山本理事長の記事をご覧になった沖野さんから「活動の場に使って下さい」と連絡を頂き、以後、整備を含め研修の場として活用させて頂いております。この度の例会では、さらに景観を取り戻し素敵な森のために力を注いでいきたいと思っております。ぜひ、たくさんのご参加を！！



写真は美しい新緑をバックに。昨年6月に行なった例会から。



2025年度 第1回もりメイトキッズ開催

■開催日：6月22日（日曜日）

■開催場所：大竹市松が原キッズフィールド

■参加人数：15名（子供8名 保護者7名） スタッフ：19名



～今年のテーマは「日本昔ばなしを体験してみよう」。第1回目は「ももたろう」～

ももたろうのおじいさんの「芝刈り」ってなあに？暮らしの中でどんな意味があるの？の疑問から「芝刈り」をクローズアップし、背負子(しょいこ)を担いだおじいさん登場。寸劇で、子ども達にわかりやすく使い方や芝刈りの意味を伝えました。昔は、身近な自然を利用して暮らしていましたが、文明が進んだ今はまったく暮らし方が違います。違いを知る中で、今こそ自然を守り元気にすることがとても大切なことを、今年のテーマ「日本昔ばなし」を題材にして、これからも子ども達に伝えていきたいと思えます。その後フィールド内で幼児は小枝拾い、小学生はノコを使ってそれぞれの「芝刈り」を体験しました。

【午前：芝刈り】



大枝を拾った幼児の「芝刈り」



背負子付けて雑木をノコで切る「芝刈り」



除伐した雑木を短く切る「芝刈り」



切った枝を束にして集める「芝刈り」

【午後：木挽き体験（小学生）】

午後からは「昔使っていた道具を使ってみよう」と、木挽き体験を行いました。昔は、間伐した材木から板材にするのに、こんな大きなノコを引いて製造していたのかと思うと、当時の森林経済に必要な道具と近年の文明の利器を比べ、人々が作り出した道具に歴史を感じ感銘する良いきっかけになりました。



みんなで木挽きにチャレンジしたよ



きびだんごを丸める子どもたち



キジ・サル・イヌはももたろうの家来に！

【きびだんご作り（幼児）】

ももたろうで外せないのは「きびだんご」！！料理隊長、北田正子さんが試行錯誤を重ねたきび団子。子供たちが上手に丸め、ももたろうの家来のキジ、サル、イヌになって参加者に配り、芝刈りした人たちのご褒美となりました。

環境教育研究部会長：佐々木綾子

もりメイトキッズを支えるスタッフ

【司会：坂田 美和】

楽しく進行したいけれどできるかな、という心配をよそに、まわりの打ち合わせはどんどん話が弾み、その勢いにのせられて、私も次第に準備ができていきました。山のこと、道具の事、まだまだ知らない事だらけのもどかしさもありましたが、全体を見渡して何事も自信を持って話せるように勉強したいなど改めて感じているところです。伸びしろしかない、と、いつまでも言っていられないもりメイト5年目。(汗)



【食育担当：徳永 淳】

今回のキッズ料理班の一番の見せ場は、食育の要素を盛り込んだ昼食の献立紹介。「食育とは？」から始まり、献立紹介では食べ物の種類とその働きを示した図を使い、幼児にも分かるようにやさしいことばで説明したつもりでしたが、子供達には少し長かったかな？と反省点も。

今年のキッズテーマは「日本昔ばなしを体験してみよう」という事で、イベントの最後は桃太郎にもならせて頂き、子供達と素敵な思い出を作る事が出来ました。





里山部会 小川フィールド

★7月13日開催 晴れ 9:00~15:00 参加者11名 部会長 佐藤謙治

■今月は午前中、小川フィールドにて竹炭材の製品加工と洗浄(不純物除去)、2月より仮伏せしていた榎木(菌糸紋が良好)の本伏せを行う。また、白木フィールド内の安全活動に支障が予測されるナラ枯れのコナラの伐倒(2本)を行った。まだまだ枯木は多く徐々に整備したい。午後からは妙国寺のご住職よりブルーベリーが熟している連絡を頂き、総勢で果摘みを行った。以下は中村さんよりの寄稿。

『当日晴れ。無風で蒸し暑い。榎木の運搬、本伏せと水やりをしながら、佐藤さんより榎木の水やり、本伏せや天地返しの説明を聞く。沢山収穫しようと思ったら、手をかけてあげないと…。また、春に火入れをした竹炭を袋に入れる大きさにカットし水洗いして乾燥。

昼食後、妙国寺へ。ご住職より、ブルーベリーの食べごろの実の見分け方、木によって少しずつ味が違うなど説明を受け、いざ収穫!なんと、摘んでいる最中に径5㍓のスズメバチの巣を発見。森の生物多様性を尊重しつつ、駆除すべきは駆除し、森を楽しんでいきたいもの。味見をしつつ袋一杯に収穫。その後アベマキ萌芽の食害防止ネットを見に、スクウスクの森へ。数年前にカットされた渋柿の木も成長し、沢山の実を付けていた。この夏も暑さに負けず、榎木の世話、フィールドの整備に汗を流します。 記:中村訓子』



榎木菌糸紋状況



竹炭加工



枯木の伐倒



ブルーベリー摘み



★7月5日(土) 12日(土)

9:00~15:00 参加者16名 部会長 岩田 幸信



クラフト部会 7月5日・12日



作業前ミーティング中

安佐南区山本鹿ヶ谷ベースでクラフト部会を行いました。

5日は、8月に行われる「ゆうゆう」の作品テーマを決める会議を行い意見がまとまったので、早速、準備に取りかかりました。

暑い中、作業をしていると、末本さんが来られ、アイスクリームと熱中症対策タブレットの差し入れをいただき、英気を養う事が出来ました。アイスクリームを食べながら末本さんの近況報告を聞き、作業に取り掛かりました。

12日は、作業小屋付近の草刈りと、引き続き「ゆうゆう」で使用する木工クラフトの準備作業を行いました。参加人数は5日、8名。12日、8名で7月は16名の参加でした。



「ゆうゆう」使用のパーツ準備



環研部会 7月20日(日)

★7月20日(日) 参加者:5名 フィールド見学:1家族

部会長 佐々木 綾子

猛暑の中、参加者5名と少人数ではありましたが竹林整備、下刈りなどを行いました。また、トライアルでキッズフィールドを開放、1家族3名の方が来られました。せつかなので鋏を使って崩れた階段の整備をしていただきました。竹林整備は急斜面で作業が大変でしたが鬱蒼としていた竹林が若干明るくなり、隣接しているキウイに陽が当たるようになればと願っています。その後8月23日に行うクラフトのトンボを試作しました。



トンボを試作中



目立て機械設置中。左は講師の山地さん。

■ 梅雨明け宣言から3日後の6月29日(日) 佐伯区湯来町において、簡易製材機の講習会を行いました。(参加者12名)。

5班の山地さんを講師に、機械の構造説明から始まり、猛暑の中、休憩を挟みながら講習を行いました。途中、簡易製材機を置かせて頂いている設置場所のオーナーである松波さんから挨拶をいただき、設置の経緯、「日本焚き火学会」の話等を伺いました。研修再開後、製材機近くにある、材を保管していた所に、マムシがいたので、作業中止となりましたが、松波さんが近所の女性(80歳)に電話すると、すぐ行きますとの返答に一安心。火ばさみの先をガーゼで保護したものと4ℓのペットボトルを抱え

て来られましたが、結局は手掴みで捕獲してペットボトルに誘い込みました。その方に『それどうされますか?』と伺うと、『焼酎漬けです。私の元気の源です』との事でした。お見事!

材の据え付けを終わり、各人2回製材機のエンジン始動から製材機を押して製材し、エンジン停止までの一連の動作を体験することができ13枚の板を仕上げました。

昼食は、7月の例会で協働作業となる「湯来ふるさとプロジェクト」のみなさんが運営している地元の「元気な店」特製のお弁当と、ノンアルコールビールで美味しくいただき、午後からは、製材機の刃の目立ての講習を行い、目立て機械の設置と目立ての実務・製材機の掃除をして15時終了となりました。参加者には「湯の山温泉入浴券」付きでしたので、温泉に入り疲れを癒して帰られました。

今回は新たな試みで、特製手作り弁当と飲み物、湯の山温泉券付きの講習会を参加費1,500円で企画しました。女性の参加者が多く皆熱心で、積極的に製材機を押して学んでおられました。

クーラーにたっぷりの冷たいお茶と場所をご提供くださった松波ご夫妻、ありがとうございました!!



製材機の押手は升本さん。慎重に!



松波さんの話を聞く研修会参加者の皆さん。



製材機のベルト調整中。北野さん(左)富田さん

2025・7・19 中国新聞掲載

狩留家町の小山に 自然の森公園構想 地元NPO 5年がかり

もりメイト倶楽部が協力



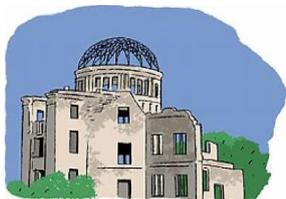
山道の階段を整備するもりメイト倶楽部のメンバーたち

広島市安佐北区狩留家町の住民グループ「NPO狩留家」が、町内の小山を、自然の森公園にする構想を描いている。県内の森を手入れている「もりメイト倶楽部 Hiroshima」(中区)の協力を得て、5年ほどかけて完成を目指す。(金刺大五)

JR芸備線狩留家駅に近い琴平山(約100㍓)で5月(84)が昨夏、同倶楽部のメンバー36人が集まった。約6時間にわたって山道を登りやすいように階段を造ったり、荒れた竹林を伐採したりする作業に汗を流した。



構想は、特産野菜「狩留家なす」の栽培を手がけるNPOが進む地域に都市部から多くの人が訪れ、交流人口が増えれば」と願う。山本理事長は「森は命の源となっていきたい。町おこしのためにも人手とノウハウを提供する」と意気込む。



— 8月 — 活動の予定

倶楽部には多彩な部会もあります。いろいろな活動にチャレンジしてみてください

- 日時：8月10日(日) 9:00~15:00
- 場所：小川フィールド <安佐北区白木町三田>
- 活動予定：竹炭の製品化(袋詰め)
 - ・環境整備(枯樹の伐倒2~4本)・楢木の天地返し
 - 《用水路清掃・地域草刈りは8:00~》
- 持参品：水筒・弁当・山の道具
- 連絡先：佐藤 090-1682-6305
satoken069@yahoo.co.jp

里山部会

- 日時：8月4日(月)
 - ・場所：袋町市民交流プラザ3F
 - もりメイトキッズ、こぶしの里クラフト打合せ
- 日時：8月23日(土)
 - ・場所：松ヶ原集会所「こぶしの里」にてクラフトイベント(午前)。午後は松ヶ原フィールドの倉庫、母屋の荷物チェック等。
- 日時：9月1日(月)
 - ・場所：袋町市民交流プラザ3F
 - もりメイトキッズ、植物観察会の打合せ
- 連絡先：佐々木
sasaki@morimate-ch.com

環研部会

夏休み木工クラフト「とんぼ」を作ろう！ in こぶしの里(松ヶ原集会所)

もりメイトキッズでお世話になっている松ヶ原町の集会所「こぶしの里」では、毎週土曜日に地元の野菜等販売しています。8月はこの「こぶしの里」にて木工クラフトを開催致します。今回作る作品は「トンボ」。

松ヶ原の野菜を購入し、作品を作ってみませんか？

★日時：8月23日(土曜日) 10:30~12:00

★場所：大竹市松ヶ原集会所<大竹市松ヶ原町445-3>

★参加費：1作品 300円

★定員：30作品 参加人数は問いません。幼児も大人の方老若男女問いません。

【協賛】松ヶ原自治会・こぶしの里松ヶ原

~申し込みは佐々木まで~

メールアドレス

kids@morimate-ch.com



9月号の会報発送作業は下記の通り、実施します。
どなたでも、都合のつく方はご参加ください。

■日時：8月27日(水) 18:00~

■場所：袋町市民交流プラザ3F

クラフト部会

- 「もりの恵み」でクラフト体験しませんか？
アイデア募集！~参加お待ちしております~
- 2日、9日(各土曜)鹿ヶ谷で作業
 - 連絡先：岩田 080-5751-3798



会員 & ご寄付の募集



私たちの活動に共感、賛同して一緒に活動していただける方、また、ご寄付を募集しています！

会員の種類

- 【正会員】：倶楽部の実作業と組織運営に積極的に関わる、個人及び団体。
- 【賛助会員】：倶楽部の事業を支援するために入会した個人及び団体。

年会費

- 【個人会費】：3,000円
- 【企業会費】：50,000円

会費・ご寄付の振込先

- 【広島銀行 白島支店】(普) 3283383
- 【ゆうちょ銀行】15170-18029291
- 《口座名》：トクヒ) モリメイトクラブヒロシマ

お申込み方法

- 下記まで電話、又はメールで
- 【電話】090-6419-7531
- 【Email】info@morimate-ch.com